

博多港 港湾計画 一部変更

平成25年12月2日
交通政策審議会
第54回港湾分科会
資料7



平成24年3月撮影

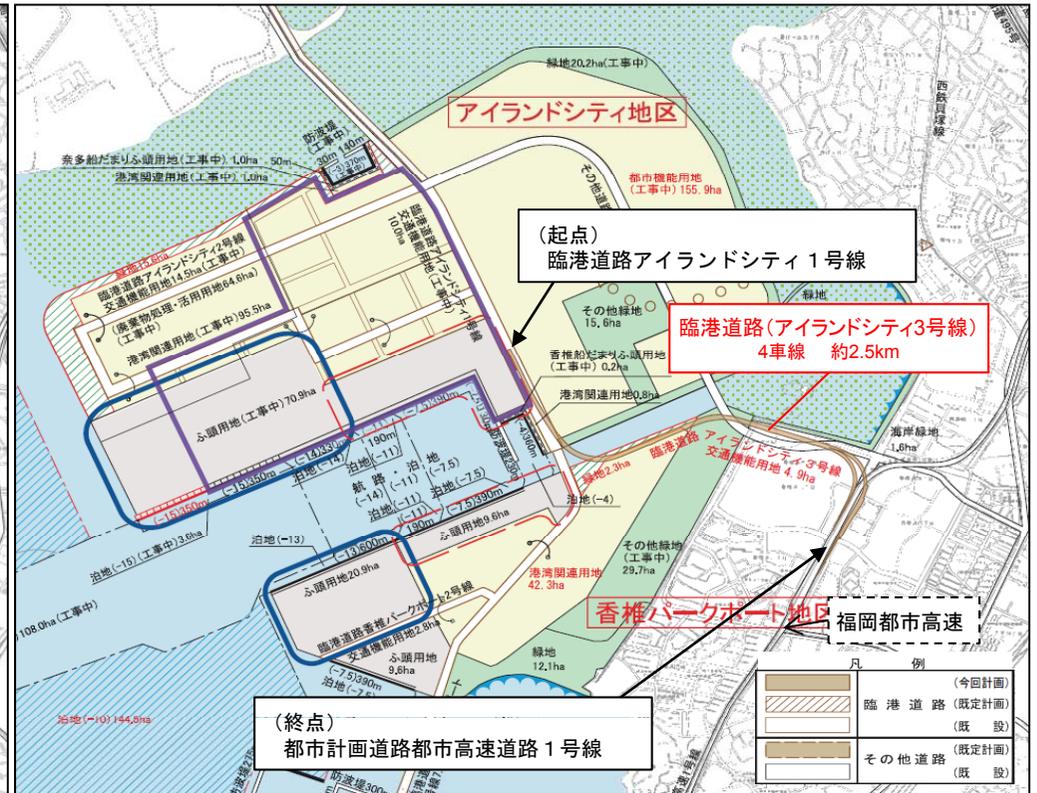
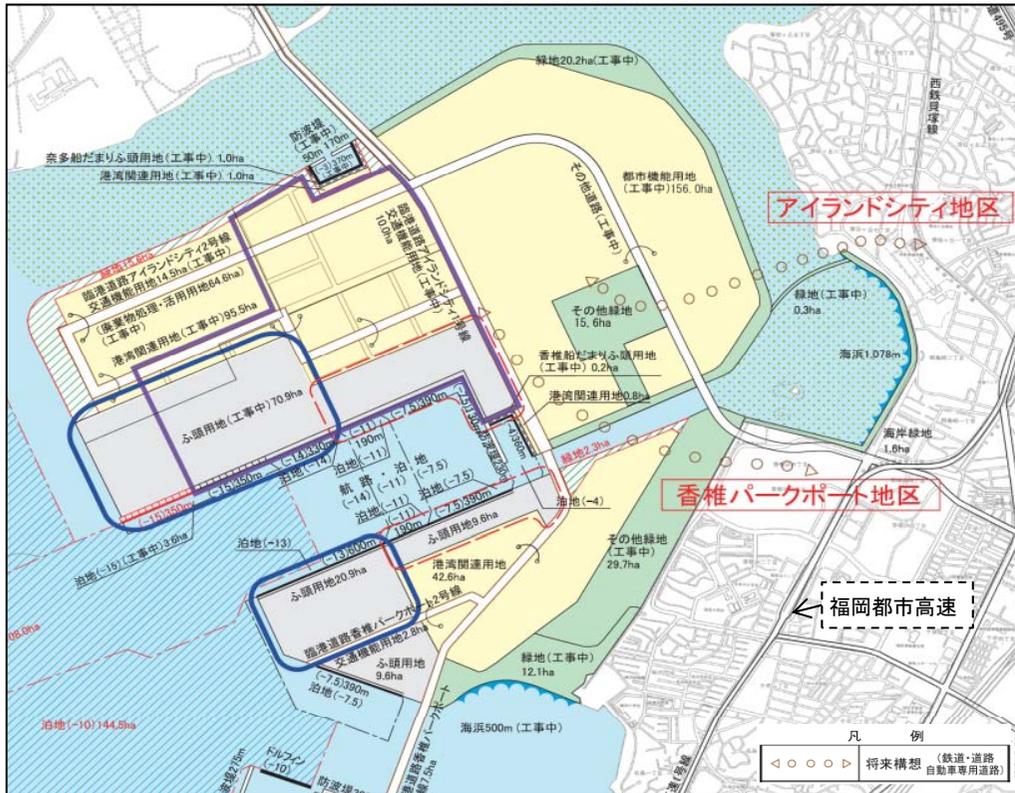
アイランドシティ地区の利用状況



計画変更内容

(既定計画)

(今回計画)



アイランドシティ地区と背後地域との広域交通アクセスの向上を図るとともに港湾における交通の円滑化を図るため、臨港交通施設等の一部変更を行う。

臨港交通施設計画

[既定計画] 将来構想

[今回計画] 臨港道路アイランドシティ3号線

(起点) 臨港道路アイランドシティ1号線

(終点) 都市計画道路都市高速道路1号線

4車線

土地利用計画

[既定計画]

港湾関連用地 42.6ha

都市機能用地 156.0ha

[今回計画]

港湾関連用地 42.3ha

都市機能用地 155.9ha

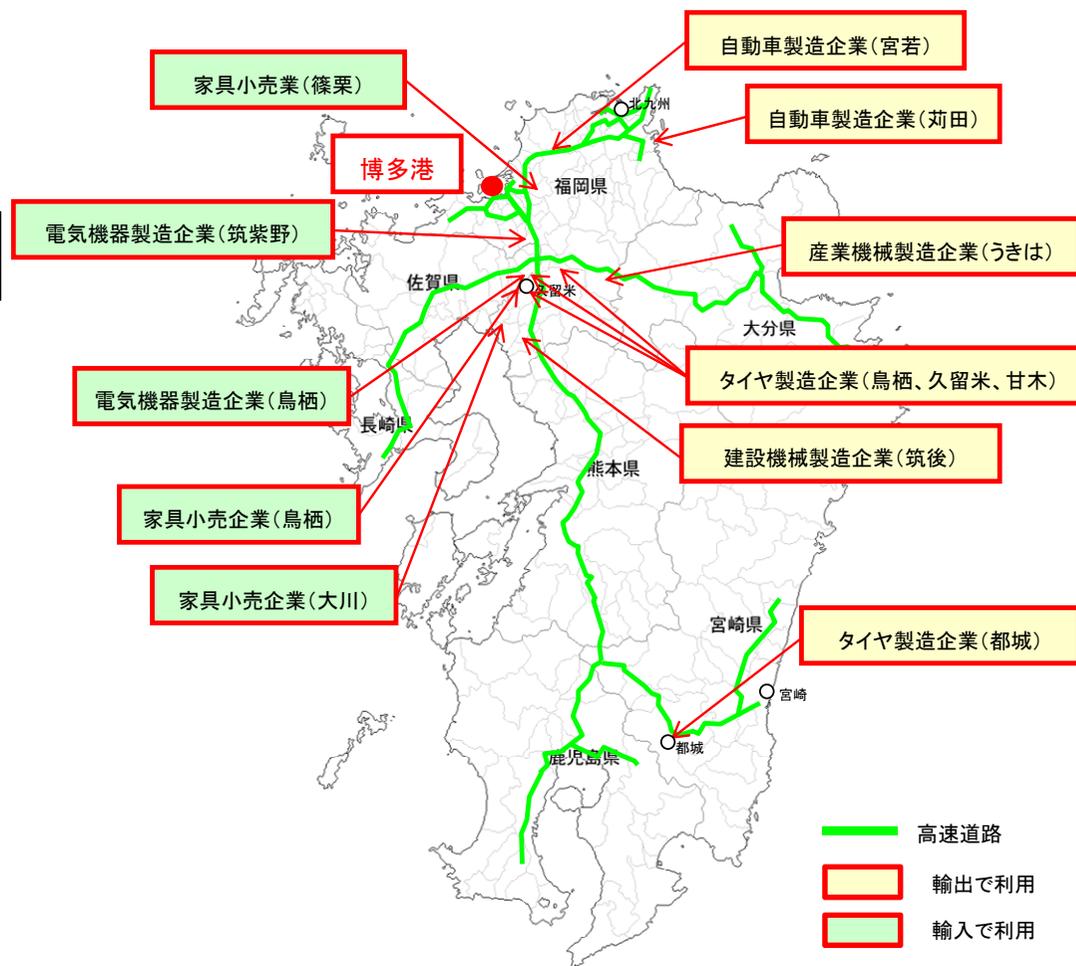
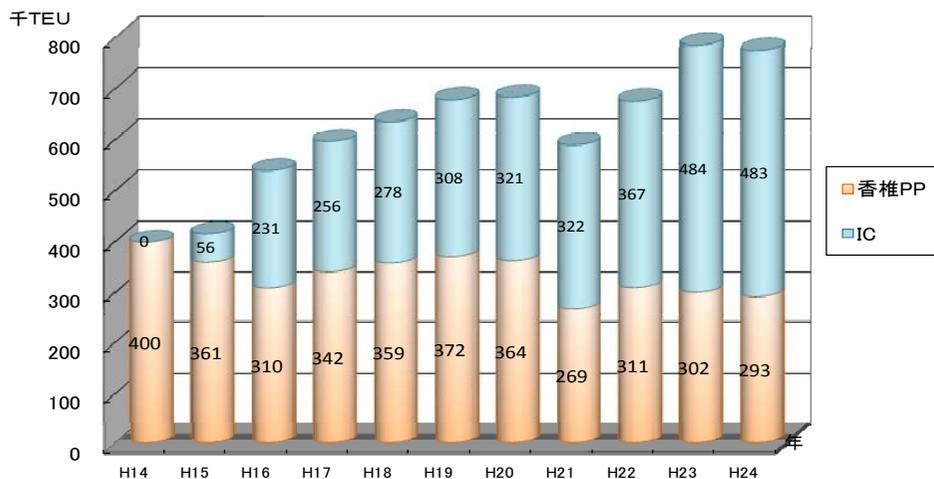
交通機能用地 4.9ha

アイランドシティ地区と背後圏

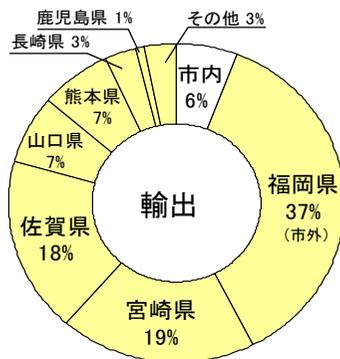
○アイランドシティ地区は博多港の国際物流ネットワークの拠点であり、博多港のコンテナ取扱貨物量の約6割を取扱う。アイランドシティ地区の整備の進展によりさらなる貨物の取扱が期待される。

○コンテナ貨物の背後圏は九州一円であり、世界トップシェアを誇るタイヤ製造企業の工場や大手家具・インテリアショップ、自動車関連製造行及び電気・食品メーカーなどが立地している。

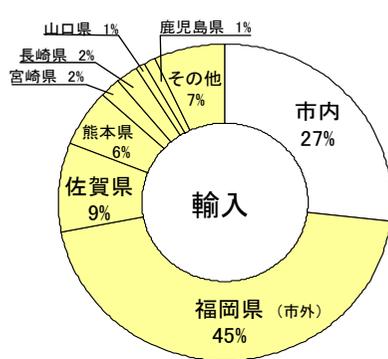
■コンテナ貨物取扱量の推移（アイランドシティ地区・香椎パークポート地区）



■コンテナ貨物背後圏の動向



輸出の約90%が福岡市外から



輸入の約70%が福岡市外へ

博多港を利用する主な背後圏企業

既設臨港道路の課題

○慢性的な渋滞の発生

- ・アイランドシティ地区は、香椎パークポート地区と箱崎ふ頭地区の臨港道路、福岡都市高速道路を経由し、九州自動車道に接続。
- ・特に貝塚ランプ付近の臨港道路内で朝夕を中心に渋滞が発生。福岡都市高速道路までのアクセスが課題となっており、新たなアクセスルートが求められている。

○円滑な交通の確保

- ・臨港道路の現在の混雑状況及び今後のアイランドシティ地区の発展を踏まえ、福岡都市高速道路へ直結する臨港道路アイランドシティ3号線を計画。既存臨港道路を利用する広域的な港湾車両を効率良く高速道路へ誘導し、周辺地域全体の自動車交通の円滑化に貢献。

<広域図>



①アイランドシティ内混雑状況



②貝塚ランプ交差点付近混雑状況



③貝塚ランプ交差点付近混雑状況



確認の視点

確認事項	国としての確認の視点
	基本方針※
効率的で安全性・信頼性が高い輸送体系の構築	港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針 ・これらの多様な要請に対応して、港湾が社会から求められる機能を的確に発揮するため、港湾においては、我が国における産業の国際競争力の強化と国民生活の質の向上を支える、 <u>効率的で安全性・信頼性が高く環境負荷の小さい輸送体系を構築していく。</u>

※港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針（平成23年9月15日施行）